

GPS/JIPS 安全性要約書

アクリエステルM(MMA)

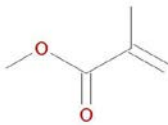
物質名 (SUBSTANCE NAME)

メタクリル酸メチル (Methyl methacrylate, CAS No. 80-62-6)

物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

メタクリル酸メチルは、無色透明でかすかなエステル臭のある液体です。主に産業において、光学材料、成型材料、看板、塗料成分等の工業原料等に用いられています。製造時や使用時には適切な保護マスク、保護手袋の着用が推奨されています。また、環境への負荷を最小化するために漏洩防止策を講じるとともに、定期的な監視や設備の保守点検が推奨されています。

化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	内容
一般名	メタクリル酸メチル
商品名	アクリルエステルM
化学名	Methyl methacrylate
CAS番号	80-62-6
その他の番号	官報公示整理番号(化審法, 安衛法) (2)-1036 EINECS番号 201-297-1
分子式	C ₅ H ₈ O ₂
構造式	
その他の情報	特になし
出典、備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート

使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

当社製品の主な用途	主に産業において、光学材料、成型材料、看板、塗料成分等の工業原料等に用いられています。
-----------	---

物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

外観(物理的状态)	液体
色	無色透明
臭気	かすかなエステル臭

比重	0.944 (20°C)
融点/沸点	-48°C/100.8°C (1,013 hPa)
可燃性/引火性	GHS 引火性液体 区分2: 引火性の高い液体および蒸気
引火点	11°C(密閉式)
爆発上下限界	下限 2.1 vol%、上限 12.5 vol%
蒸気圧	3.73 kPa(20°C)
分子量	100.12
水溶解性	水のモノマーへの溶解度 0.99% モノマーの水への溶解度 1.72%
オクタノール-水分配係数	Log Pow : 1.38
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート

ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

影響評価	結果 (GHS ^{*1} 危険有害性分類)
急性毒性(経口)	区分外 ^{*2}
急性毒性(吸入)	吸入すると有害(区分4(蒸気))
急性毒性(経皮)	区分外 ^{*2}
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激(区分2)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	強い眼刺激(区分2A)
呼吸器感受性	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ(区分1)
皮膚感受性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1)
生殖細胞変異原性	区分外 ^{*2}
発がん性	区分外 ^{*2}
生殖毒性	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い(区分2)
特定標的臓器(単回ばく露)	呼吸器への刺激のおそれ(区分3(気道刺激性)) 眠気またはめまいのおそれ(区分3(麻酔作用))
特定標的臓器(反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器、中枢神経系)の障害(区分1(呼吸器、中枢神経系))
吸引性呼吸器有害性	分類できない ^{*3} (毒性報告の情報はない)
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート ^{*1} GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals。世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。 ^{*2} 区分外: GHS規定の最も低い有害危険性区分より更に低い危険有害性と考えられる。 ^{*3} 分類できない: 信頼性あるデータがない、またはデータ不足のため分類できない

環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

影響評価	結果(GHS危険有害性分類)
水生環境有害性(急性)	水生生物に有害(区分3)
水生環境有害性(慢性)	区分外
オゾン層への有害性	分類できない
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート

環境運命・動態	結果
生分解性	分解性が良好と判断される物質。

生物蓄積性	生物蓄積性は低いと推定される。
PBT/vPvBの結論	PBT*、vPvB**に該当しない。
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート *PBT: Persistent, bioaccumulative and toxic(環境中に残留性し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する) **vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative(環境中に非常に残留性しやすく、非常に高い生物蓄積性を有する)

ばく露 (EXPOSURE)

作業員および消費者、環境へのばく露は、以下の取扱い時におこる可能性がある。

詳細	No.	当社製品の主な用途におけるばく露の可能性(ばく露経路)
作業員ばく露	1-1	管理されたばく露のある閉鎖系・連続プロセスでの作業や調剤や成形品製造における顕著な接触機会を伴うバッチでの混合・混和作業において、メンテナンス、サンプリングおよび装置故障の際等に、作業員への経皮・吸入ばく露の可能性がります。また専用設備での船舶／大容量コンテナへの、または船舶／大容量コンテナからの物質や調剤の移し替え作業において、作業員への経皮・吸入ばく露の可能性がります。
消費者ばく露	2-1	本物質を含む消費者製品はありません。
環境ばく露	3-1	産業における物質の製造工程から、主に大気及び水環境へ放出される可能性があります。また合成原料やポリマー原料等、他の物質製造のための中間体として使用され、主に大気及び水環境へ放出される可能性があります。
注意事項		他の用途におけるばく露の可能性がある場合、推奨するリスク管理措置を参考に適切な措置を実施してください。

推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

詳細	No.	当社リスク評価結果に基づく推奨する管理措置
対作業員ばく露	1-1	製造や使用時の作業の際は、適切な保護めがね、保護マスク、保護手袋を着用してください。屋内では局所排気の下、作業してください。 また、当該物質については ACGIH(米国産業衛生専門家会議、2011年版)により、作業環境許容濃度の勧告値として TLV-TWA: 50ppm、TLV-STEL: 100ppm が公表されています。製造・使用場所においては、この勧告値を下回る環境濃度となるよう管理・制御してください。 作業責任者は、作業員に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法などの教育をしてください。
対消費者ばく露	2-1	本物質を含む消費者製品はありません。
対環境ばく露	3-1	当該物質は主に大気及び水環境へ放出されやすいです。排ガス・処理排水処理施設を設置し、漏洩防止などの対策を講じるとともに、日常管理、取り扱いに注意を払ってください。
その他取扱注意事項		熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけてください。
注意事項		通常での取扱い、緊急時対応、廃棄時、輸送時の管理措置は、安全データシートの4, 5, 6, 7, 8, 13, 14項を参照して下さい。

(注) No.は「ばく露」記載箇所にある、それぞれの「ばく露の可能性」に対する管理措置を記載している。




政府機関のレビュー状況 (STATE AGENCY REVIEW)

有害性評価	レビュー状況
国際化学物質安全性カード	http://www.inchem.org/documents/icsc/icsc/eics0300.htm
環境省 化学物質の環境リスク初期評価	http://www.env.go.jp/chemi/report/h16-01/pdf/chap01/02_2_20.pdf
NITE 化学物質の初期リスク評価書	http://www.safe.nite.go.jp/risk/files/pdf_hyoukasyo/320riskdoc.pdf
CERI 既存化学物質安全性(ハザード)評価シート	http://qsar.cerij.or.jp/SHEET/F96_35.pdf
CERI 有害性評価書	http://www.cerij.or.jp/evaluation_document/yugai/80_62_6.pdf
OECD SIDS	http://webnet.oecd.org/Hpv/UI/SIDS_Details.aspx?id=56B5AA4E-044A-4A1D-8ACA-9DCF9E1A0A8C
EU リスク評価書	http://www.baua.de/de/Chemikaliengesetz-Biozidverfahren/Dokumente/RAR_024.pdf?__blob=publicationFile&v=2
NTP(米国国家毒性計画)長期試験レポート	http://ntp.niehs.nih.gov/ntp/htdocs/lt_rpts/tr314.pdf
IRIS(米国 EPA(環境保護庁)によるリスク情報システム)	http://cfpub.epa.gov/ncea/iris/index.cfm?fuseaction=iris.showQuickView&substance_nmbr=1000

法規制情報/分類・ラベル情報
(REGULATORY INFORMATION / CLASSIFICATION AND LABELLING INFORMATION)
法規制情報

法律	規制状況
消防法	第4類第一石油類 非水溶性液体(200L)
労働安全衛生法	法第57条の1、施行令第18条の2別表第9名称等を表示すべき有害物、法第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき有害物、法第57条の3、危険性又は有害性等調査対象物質(リスクアセスメント義務対象物質) 施行令別表1-4、危険物・引火性の物
大気汚染防止法	有害大気汚染物質、揮発性有機化合物
海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質)
化学物質排出把握管理促進法	第一種指定化学物質 メタクリル酸メチル(政令番号:420) (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
船舶安全法	危規則第2, 3条危険物告示別表第1引火性液体類
港則法	施行規則第12条危険物告示引火性液体
労働基準法	法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号疾病化学物質、法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号感作性物質、平8労基局長通達、基発第182号
道路法	施行令第19条の13、車両の通行の制限、日本道路公団公示別表
国連分類	クラス3 (引火性液体)
国連番号	UN 1247

ラベル情報

絵表示またはシンボル	  
注意喚起語	危険
危険有害性情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引火性の高い液体および蒸気 ・ 吸入すると有害 ・ 皮膚刺激 ・ 強い眼刺激 ・ 吸入するとアレルギー、喘息、又は呼吸困難を起こすおそれ ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い ・ 呼吸器への刺激のおそれ ・ 眠気又はめまいのおそれ ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器、中枢神経系）の障害 ・ 水生生物に有害

連絡先（CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY）

会社名	三菱ケミカル株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1-1-1
担当部門・担当者	MMA企画部 技術グループ
電話番号	(03)6748-7540

発行・改訂日（DATE OF ISSUE / REVISION）その他の情報（ADDITIONAL INFORMATION）

初版：2012年7月23日発行

改訂：

改訂日	項目	改訂箇所	版
2016年2月2日	法規制情報 連絡先	法規制追記 部署名、電話番号の訂正	2
2017年4月1日	全体 法規制情報 連絡先	社名変更 法規制追記 部署名、電話番号の訂正	3
2018年12月27日	全体 連絡先	表記見直し 担当部門の変更	4

特記事項：

なし

免責条項（DISCLAIMER）

この製品安全性要約書の目的は、対象品の情報を簡単な概要として提供することであり、リスク

評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全データシート(SDS)、または化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。また、記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。